

【記者からの質問】

<新型コロナワクチンについて>

読売新聞／国からのワクチンあたりのワクチン配分量が増えない状況だが、県内への影響や課題は出てくるのか。

知事／ワクチン接種は、供給された中でベストを尽くしている。万全の対策で、市町と連携し、事前に備えをしてきた。ワクチン供給が滞っていることに対し、じくじたる思いがある。国は、自治体を信用してほしい。

佐賀県の接種体制を評価してもらっているのはありがたい。玄海町の配布が終わり、やがて県全体も接種が済み、ワクチンの効果が、実証されていくことを願っている。

<新型コロナウイルス感染症関連>

読売新聞／西村大臣の発言が議論をよんでいるが、一連の対応についての考えを。

知事／あり得ないことだ。現場を理解し、俯瞰的に全体を見てほしい。圧力をかけるやり方は、逆効果ではないかと思う。

大臣がたまたま発言したのではなく、政府全体で整理し発言したことに背筋が寒くなる。官僚が異議を唱えられなかったこと、政治家が「おかしい」と議論しなかったこと。そのような形で意思決定されていくことに危機感を覚える。

いろいろな意見が出せて、現場の声が届いているのか心配。声を上げやすい状況で協議をおこなってほしい。

<佐賀空港の自衛隊使用要請関連 その1>

読売新聞／今月上旬の地権者説明会で、防衛局の説明は十分だったのか。また、現在のこの状況をどう受け止めているか。

知事／地権者説明会が終了したことは良かった。しかし、説明会の内容では、用意されたアンケートに答えるための判断材料が足りなかったようだ。防衛省は、補足する説明や資料などを用意すると聞いている。さまざまな問題に、防衛省が答えるということが大事。

<鉄道遺構「高輪築堤」について その1>

読売新聞／先日、「高輪の鉄道遺構の一部を佐賀に持ってくる方向で調整したい」と発言があった。検討状況や見通しを。

知事／主要部分は残ると聞いている。大規模に遺構が残っているので、全てを保全するのは難しいだろう。佐賀県に持ってこられる部分があるのではないかと。JR 東日本や港区と相談しながら進めたい。

<佐賀空港の自衛隊使用要請関連 その2>

朝日新聞／オスプレイの地権者説明会は非公開だった。九州新幹線の問題は、公開の議論にこだわってきた。防衛省に対して、公開の場での説明を求めないのか。

知事／新幹線は、佐賀県と国交省の協議。協議主体として公開を希望している。

地権者説明会は、防衛省と地権者との話し合い。県は、協議がスムーズにいくよう、調整を丁寧に進めていく立ち位置。

朝日新聞／公害防止協定の当事者は、県と漁協。それでも公開を求めないのか。

知事／公害防止協定は、公開の方向で考えるだろう。今回は、金額や面積などの問題があり、特に交渉過程でもあるので、非公開でやることに対し理解する。

朝日新聞／説明会で配付された資料は、簡素化されており、金額の提示もなかった。これまで公開された説明会と内容的に変わらないが、それでも公開しなくていいという考えか。

知事／公開する・しないは、当事者間の考え。漁業者・地権者側が詳細な情報を要求し、防衛省が補足資料を作って、やり取りをしている途中だと認識している。

<原発関連>

西日本新聞／九州電力玄海原発の基準地震動の見直して、原子力規制委員会の判断と九州電力の姿勢をどう思うか。

知事／原子力規制委員会、更田委員長の規制機関として仕事を全うする姿勢を信頼している。

今後とも、安全を優先し、厳正な審査を行ってほしい。九州電力は、真摯に向き合ってほしい。

西日本新聞／経済産業省が2030年時代の発電コストは、太陽光が原子力を上回る安さになるという試算結果を公表した。この結果をどう受け止めているか。

知事／依存度を低くし、積極的にシフトしていくべきだ。新しいエネルギー基本計画の中に、発電コストの試算結果が、どう反映されるかを注目している。

<パートナーシップ制度について>

NHK／県のほかに唐津市が手を挙げている。県と市の連携は、同じものを使うのか、別の制度になるのか。

知事／県と市の立てつけを詰めていかなければいけない。制度設計が大事になるので、市との調整を図っていく。

LGBTで苦勞されている方の考えを受け止めることを第一義に、唐津市や関係機関と調整し、

8月までには間に合わせたい。

<鉄道遺構「高輪築堤」について その2>

NHK／高輪遺構の件は、佐賀県の意向を JR 東日本や港区に正式に伝えているか。持つてくる場所や展示の形など知事のイメージは？

知事／港区長、JR 東日本に意向を伝えている。美術館、博物館、大隈重信記念館、早稲田佐賀校内などをイメージしている。どこの部分を持つてくるかにも関係する。

大隈重信の創造力やあの時代の人の気持ちと一体化できるような形の移設を考えていきたい。

NHK／佐賀に移築する意義と知事の考えを。

知事／知事になって仕掛けたのが明治維新 150 年の維新博。佐賀の子供たちは、明治維新の佐賀の偉人の葛藤や思い、成し遂げたことなどを知らない。佐賀県は、7 年くらいお取り潰しになっている。その間に、誇りも断絶したかもしれない。

大隈重信の没後 100 回忌の年に、遺構がそのまま出てくるとは、すごいこと。そういう感動を県民の皆さんと共有したい。

<春秋航空社長との会談について>

NHK／12 日に成田で春秋航空社長と会談した目的は？

知事／日本航空が、春秋航空日本の 6 割を超える株を取得した。米澤社長が JAL からきて、経営がどう変わるのか。佐賀空港の位置づけの確認、成田—佐賀県線は大事な路線であることを伝えることができた。JAL も、中国とのネットワークに非常に意欲的である。

<国勢調査について>

佐賀新聞／国勢調査で、前回より人口が約 2 万人減少した。これに対する受け止めを。

知事／減少率をみると、健闘しているという印象。今後、人が豊かに生きることによって価値を見出す時代になったとき、佐賀のもつ可能性はかなり高い。福岡都市圏とのすみ分け、筑後佐賀圏としての発展の可能性がある。

人口問題だけに注視するのではなく、佐賀に来てよかったという体感や共感を増やしていくことで、自然な流れとして佐賀に住みたい、仕事が増えるような環境を作っていく。